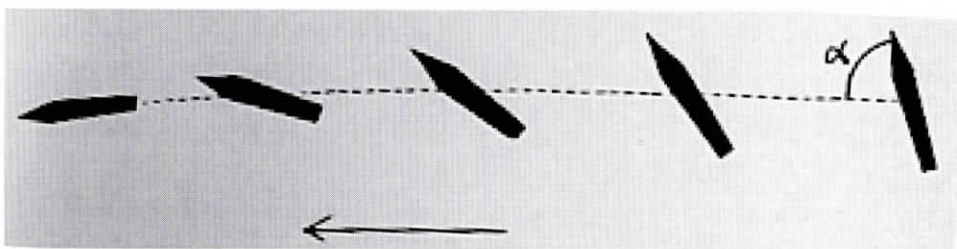
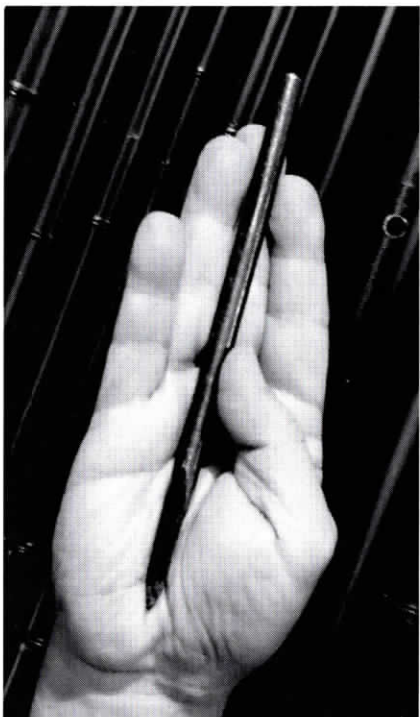




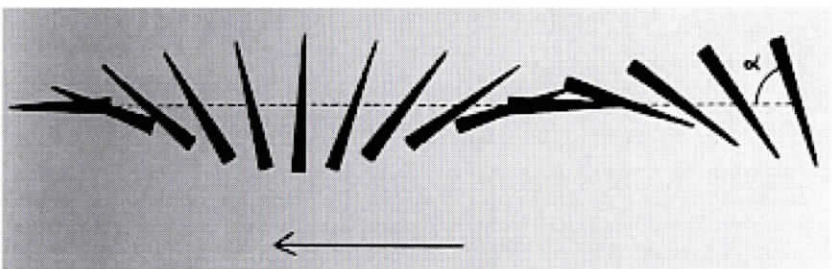
直打法
じきだほう



手裏剣は、的に近づくにつれて角 α は減少し、突刺さった時点では零ゼロになる。このような打法は、手裏剣を人差指、中指、薬指のあいだを滑らせながら打つものであるが、距離に応じて射角 α を零ゼロにする操作を行うので、極めて難しい打法だほうである。



反転打法
はんでんだほう



指の間を滑らせる原理は直打法じきだほうと同じであるが、逆の持ち方をして打つ打法だほうである。射角 α で手より離れた手裏剣は、一度 α を零ゼロにしたうえで、さらに一八〇度半回転して的に刺さる。この反転打法を採用する流派でも、近距離（三メートル以内）では直打法じきだほうで打つ。反転打法は直打法じきだほうにくらべて一八〇度の回転力が加わるので、運動線に対する左右の横振は無くなり、比較的打ち易い。

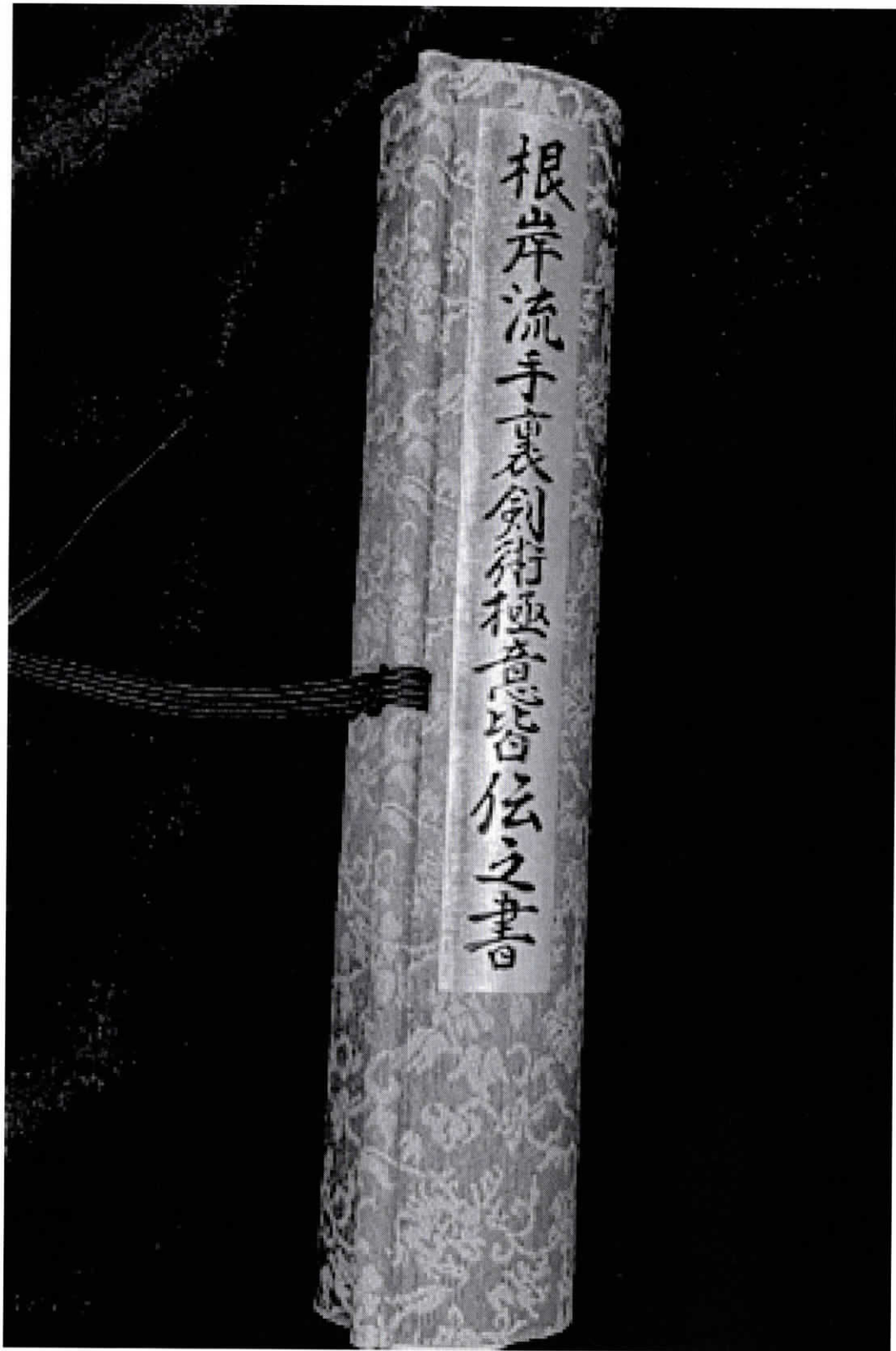
いう瞬間に、弓鉄砲のように標的に向かって狙いを定める標準機がないので、ただ体で打ついわゆる勘で打つ事と考えられるが、その勘というものは、体が出来上がってから後はじめて内部的に働くものである事を忘れてはならない。

手裏剣の特徴

- 一、先^まず体格、性別、年齢に左右されず非力の人でも戦える事。
- 一、ひとり稽古が出来る事。
- 一、的等を使用した場合、命中率がハッキリわかる事。

それほど手裏剣術は入りやすいが、自身の目標がハッキリしないとまた達しがたい武術です。手裏剣術の本を見ても動画を見ても進歩しないのは、以下の理由である。

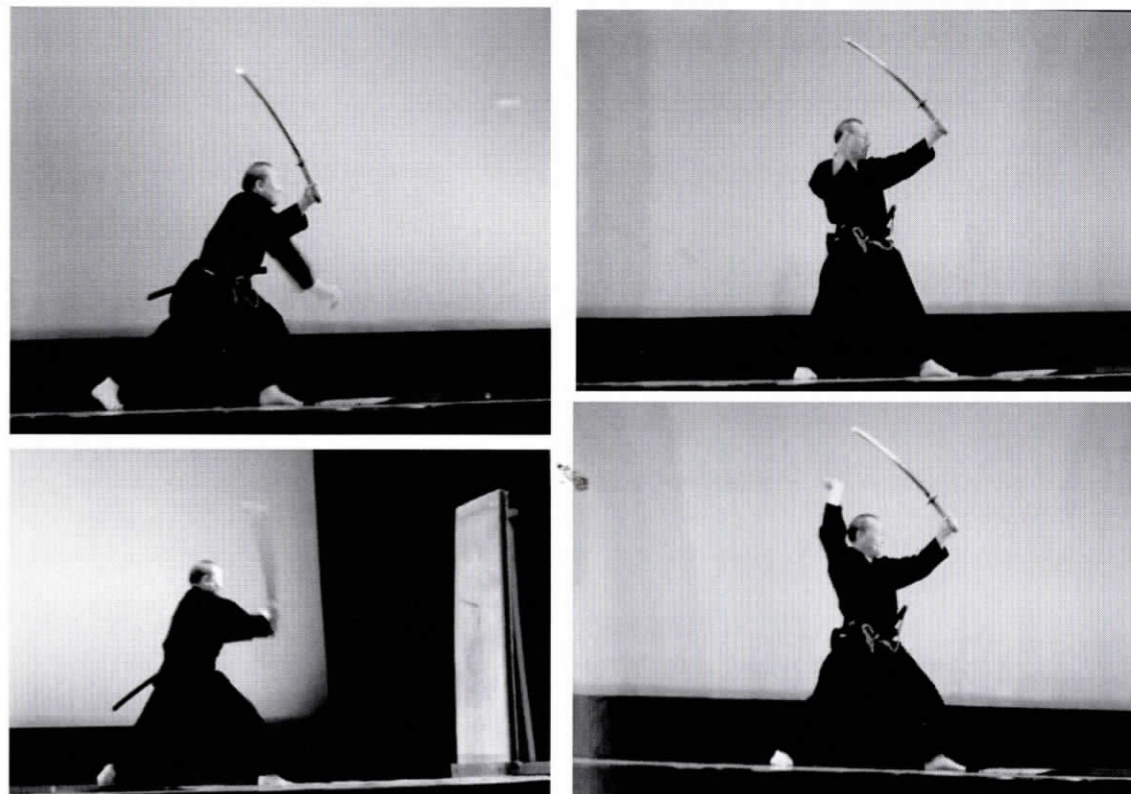
根岸流手裏剣術の伝承





根岸流手裏剣(実寸)

成瀬関次氏 伝来 約 60g 約 90g 約 140g 約 160g



とうじゅつくみこ 刀術組子の形

六代目宗家 苦米地芳見の演武

